

令和 5 年度 学校評価 自己評価書（3 学期）

1 学校の重点目標

- 豊かな人間性と健やかな体を備えた生徒を育成する。
- 「確かな学力」を持ち、未来を切り拓く生徒を育成する。
- 信頼される開かれた学校教育を推進する。

2 課題と改善策

※ 職員の評価は 4 段階評価とする

重点課題と評価項目	職 員	評価結果と改善方策
<p>1 人権教育の推進と豊かな心を育む道德教育の充実</p> <p>(1) 計画に沿って、授業を実施している。</p> <p>(2) 総合単元的な授業の展開に努めている。</p>	<p>3. 2</p> <p>3. 2</p>	<p>○性に関する授業は、自他の人権を尊重する態度の育成にも繋がることから、全教育活動を通して取り組んでいく。</p>
<p>2 発問を工夫し思考力・判断力・表現力を高める授業改善の工夫</p> <p>(1) 基礎的・基本的な内容を明確にして、教材や板書を工夫している。</p> <p>(2) 生徒や保護者の願いを具体化し、自ら学ぼうとする具体的な学習指導プランの作成に努めている。</p> <p>(3) 「主体的・対話的で深い学び」を意識して、授業を展開している。</p>	<p>3. 7</p> <p>3. 0</p> <p>3. 3</p>	<p>○全国学力・学習状況調査や鹿児島学習定着度調査の結果の分析を基に、補充学習や授業改善に取り組んでいく。</p> <p>○個別最適な学びの実現に向けて、ICTを効果的に活用できるように研修を深める。</p>
<p>3 一人一人を大切にしたい指導や支援の工夫</p> <p>(1) 様々な検査や調査を活用して、的確な実態把握と個別支援カードを活用した適切な個々の把握に努めている。</p> <p>(2) 合理的配慮の提供に努め、特別支援教育の工夫を行っている。</p>	<p>3. 3</p> <p>3. 0</p>	<p>○特別支援教育委員会(月 1 回開催)の報告を基に、合理的配慮を要する生徒について職員間で共通理解し、共通実践に努める。</p> <p>○特別支援教育支援員との連携を密にし、個に応じた指導に努める。</p>
<p>4 教育相談を生かした積極的な生徒指導の充実</p> <p>(1) 生徒指導部会(心の教育推進委員会)等で確認した共通理解事項を日常の指導に生かしている。</p> <p>(2) 気になる生徒についての情報連携を積極的に行い、必要とする支援に努めている。</p> <p>(3) 生徒への意図的な語りかけやカウンセリングを通して、個に応じた積極的な生徒指導の推進に努めている。</p>	<p>3. 4</p> <p>3. 6</p> <p>3. 1</p>	<p>○市SCによる生徒全員を対象にしたカウンセリングを行い、生徒の心情把握に努めた。</p> <p>○小規模校の利点を活かし、生徒の気になる様子や欠席については、早い段階で積極的に保護者と連携を図っていく。</p> <p>○生徒指導部委員会(月 2 回開催)を活用して、不登校対応や未然防止に努める。</p>

<p>5 夢を創り夢を持ち未来を切り拓くための系統的なキャリア教育の展開</p> <p>(1) 啓発的な体験活動の推進をとおして、望ましい職業観・勤労観の推進を図っている。</p> <p>(2) 地域や保護者、関係機関と連携したキャリア教育を推進している。</p> <p>(3) 様々な活動において、目標を持たせ、活動の振り返りをさせることで、達成感や次の活動への意欲を高めさせるよう努めている。</p>	<p>3. 1</p> <p>2. 7</p> <p>2. 9</p>	<p>○講師を招聘しての上級学校説明会や校内ハローワーク、全校朝会の中での「ようこそ先輩」講話は、子どもたちが、これからの目標や今やらなければならないこと等を考えることができる取組であることから、今後も継続できるように教育課程に位置付けていく。</p> <p>○来年度は、2・3年生で職場体験学習を実施する予定である。</p>
<p>6 健康でたくましい心と体の育成</p> <p>(1) 生徒の表情や様子を観察・確認し、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。</p>	<p>3. 4</p>	<p>○レクリエーション・ニュースポーツ教室等を通して、子どもたちが運動（身体を動かすこと）の楽しさを感じることができた。</p> <p>○生徒の自己肯定感を高めるための手立てや取組を考え、実践していくことが大切である。</p>
<p>7 小中交流タイムの充実、学びを高める小中連携の推進</p> <p>(1) 授業を通じた実践研修や小中連携による研修の充実に努めている。</p> <p>(2) 小学校との児童生徒理解を深め、いじめの早期発見対応や不登校児童生徒への適切な対応に努めている。</p> <p>(3) 様々な行動や活動をとおして小学校との連携を充実させ、推進委員会や各研究組織が計画的に運営され、職員一人一人が積極的な活動や研究を推進している。</p>	<p>3. 3</p> <p>3. 3</p> <p>3. 0</p>	<p>○小中連携週間や小中合同職員研修等を充実させ、小中の結びつきを強化していく。</p> <p>○新1年生についての情報交換会には、中学校の全職員が参加して情報共有を図っていく。</p> <p>○保健関係についての小中間の情報交換については、今後も随時細やかに行っていく。</p> <p>○特別な配慮の必要な子どもについては、十分時間を確保して情報共有に努める。</p>
<p>8 時間や成果を意識した業務改善の推進</p> <p>(1) 校務の計画的な遂行に努めている。</p> <p>(2) 超過勤務を少なくし、定時退庁などの勤務時間の適正化に努めている。</p>	<p>3. 5</p> <p>3. 5</p>	<p>○定時退庁日（毎週水曜日）の取組については、職員朝会での呼びかけを継続していく。</p> <p>○効率的に引継ぎを行えるように、ファイルやフォルダ等の整理を計画的に進める。</p>